



社員120名中70名が技術者

## Company Profile

### マツモト機械株式会社

住 所 / 〒581-0092  
八尾市老原4-153  
創 業 / 昭和36年  
設 立 / 昭和39年2月  
資本金 / 1億5,900万円  
従業員 / 120名  
T E L / 072-949-4661  
F A X / 072-948-1528

#### ■主な事業内容

ロボットシステムやレーザー溶接システム、溶接装置とその周辺機器および自動機械の設計と製作

#### ■主な取引先

自動車、造船、建機、製缶、橋梁、鉄骨、電機、住宅、航空機分野等のメーカー各社



## 当社のセールスポイント

これまで、これからもユーザー目線でのものづくりを。



代表取締役社長  
白石 春海さん

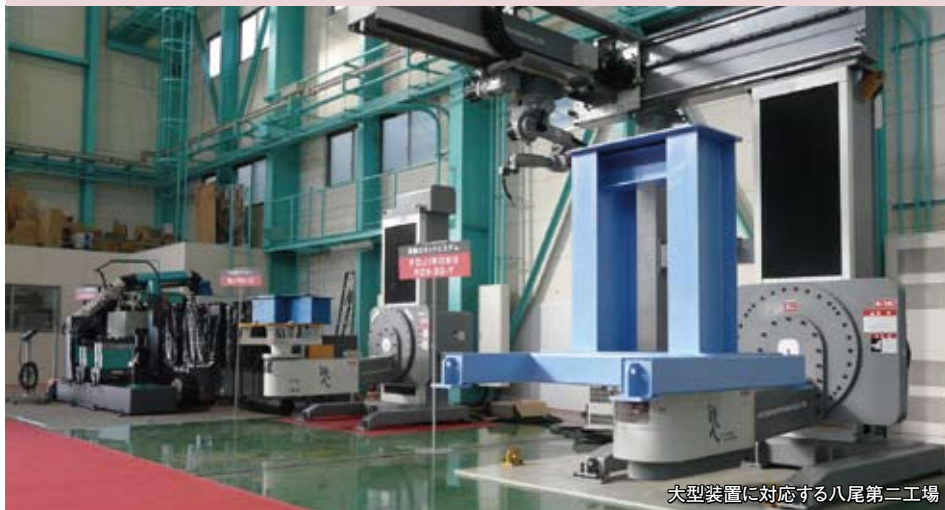
溶接という業界は成熟産業であり、市場も大きくはありません。その中で大手企業ではコスト面で難しいことも、小回りのきく当社だからこそできることとして実績を積み重ね、今日の厚い信頼をいただいております。これまでこれからも、ユーザー目線でのものづくりこそが当社の使命です。

# 主力3製品は、シェア80%超 溶接装置といえば〈MAC〉ブランド

## マツモト機械株式会社

<http://www.mac-wels.co.jp/>

関西  
21



大型装置に対応する八尾第二工場

### 溶接に便利な機械を標準化したマツモト機械

溶接が関わる現場の大半には、〈MAC〉ブランドの溶接装置と周辺機器が導入されていると言っても過言ではない。マツモト機械は、溶接装置の分野で圧倒的かつ不動の地位を獲得している。

溶接装置とは、溶接作業を効率化・自動化するシステムや装置で、いわば溶接作業を便利にするための機械である。例えば溶接用回転装置のポジショナーでは80%以上、タンク等の溶接装置ターニングローラーでは75%以上のシェア。直線溶接装置マニプレータも80%のシェア。そこには、これらの装置を約50年前に同社が初めて国産で標準化したという背景がある。当時は汎用機がなかったため、各現場それぞれで作業に見合った装置を独自に製作していた。「現場で必要とされるものをつくらう」と、市場をにらんでいち早く標準化に取り組んだのがマツモト機械だった。

### 次世代溶接YAGレーザーにもいち早く取り組む技術集団

製品の販売・アフターフォローを、グループ企業のマツモト産業が担ったこともシェア拡大を後押しした。全国ネットの販売網を通じて吸い上げられた現場の生の声がフィードバックされるからだ。同社は現場の声に応じて開発・改良した製品やオプションを次々と送り出した。結果、ユーザーに支持された製品だけが継承され、密度が濃くバラエティに富んだラインアップとなっている。

標準化の一方で、ユーザーに合わせて最適なシステムを組めることも強みだ。例えば溶接ロボットシステムなら、数あるロボットメーカーや溶接機メーカーから選択し、さらには安全柵等の周辺機器も併せて、目的に合った適格なシステムを完成させることができる。そんな同社が、次世代の溶接システムとして開発に取り組んでいるのがYAG（イットリウム・アルミニウム・ガーネット）レーザーである。



YAGレーザー溶接システムを推進する「レーザーラボ」

マツモト機械は、社員120名のうち70名が技術者だという。機械、電機、溶接の専門技術者達は一人1台専用の3次元CADを使用している。どこまでも「必要とされるもの」を目指す技術集団。それがマツモト機械である。